

<岐阜市水泳実施チェックリスト>に応じた水泳授業の基本方針

保護者様向け

岐阜市立島小学校

■ 授業前実施項目

① プール及び更衣室やトイレ等の清掃を行ったか。その際に、施設（排水口の蓋やプールサイド床の剥がれ等）やろ過器等に異常がないか点検を行ったか。

ア. プール施設全体の点検を体育主任始め教職員で実施した。設備に係る修繕箇所は、専門業者に依頼し、プール開始までの修繕が完了している。また、プール清掃日を設定し、6年生児童及び教職員での清掃を行う予定である。プール開始後は、職員による定期的な清掃と消毒作業を徹底する。

② 事故の未然防止及び事故が起こった際の緊急時の対応について学校内で周知したか。また、プールの水質管理や機械の操作方法を確認したか。

イ. 事故の未然防止及び事故が起こった際の緊急時の対応について、明確にして、救命救急研修、またはプール管理講習日の際に全職員に周知、徹底を図る。また、「緊急時の対応」について職員室およびプールに掲示をする。

③ 授業後における、プール施設(蛇口等)及び、更衣室やトイレ等の消毒箇所や消毒方法について学校内で確認したか。

ウ. プール使用後の消毒担当者は、担任を持たないフリーの教員で分担し、1授業後ごとに、更衣室やトイレ及び蛇口等の簡易的な消毒、更衣室の換気・施錠等を行う。
・消毒担当者分担表の作成・・・コロナガード（教頭）

④ 更衣室を複数にして(身体的距離を確保することが困難な場合)一斉に大人数で利用せず少人数にとどめる対策を講じたか。また、更衣中は、マスクを着用するよう指導したか。

エ. 安全面を考えて1授業同学年2クラスとする。(2人の先生で見守る)

オ. ただし、児童の更衣室利用、プールに入水は、密を避けるため数分ずつずらす。このことについては、児童の発達段階に応じて、学年ごとに話し合い、学年による更衣室の利用の仕方、プール学習の仕方についてよりよい方法を工夫して実施する。

例1.更衣室利用を10分ずつずらして、入水時は2人教諭で監督する場合(高学年向き)

	10分	20分	30分	40分	50分
A 教諭	準備	体操※	A 組水泳監視	B 組水泳監視	片付け
A 組児童	着替え		水泳	着替え	→教室へ
B 教諭		準備	A 組水泳監視	B 組水泳監視	片付け
B 組児童	→更衣室	着替え	体操※	水泳	着替え

※体操後に、マスクをとり用意した袋に入れて、集めてカゴに入れる。

マスク保管する巾着ビニール袋は、学校予算において一括購入をする。

例2.一緒に更衣をし、入水時のみ交互に学級分散をする場合(定学年向き)

	10分	20分	30分	40分	50分
A 教諭	更衣指導	体操指導	A 組 B 組水泳監視	更衣指導	
A 組児童	着替え	体操	AB 交互に水泳	着替え	
B 教諭	更衣指導	体操指導	A 組 B 組水泳監視	更衣指導	
B 組児童	着替え	体操	AB 交互に水泳	着替え	

カ. 更衣室は、以下のような複数個所準備をする。

例 1.	南舎 2 階会議室	男子児童の更衣室
	プールの男女更衣室	女子児童の更衣室

※着替えた服を間違えずにひとまとめにして袋に入れる指導を徹底のこと。

例 2. 学級でずらす場合（高学年向き）

学級	男子	女子
先に入る学級	自分の学級	会議室
10分遅れて始める学級	プールの男子更衣室	プールの女子更衣室

例 3. 更衣はずらさず、入水時のみ交互で行う場合（低学年向き）

学級	男子	女子
A 組	A 組教室	B 組教室
B 組	A 組教室	B 組教室

キ. マスクをしたまま水着に着替え、準備体操を終えてから、マスクを袋に入れて集める。更衣室利用中は、不必要な会話や発声をしないよう児童生徒に指導すること。

ク. シャワーに入るときに密になったり、大声を出したりすることが考えられる。シャワー使用時の事前指導をしっかりと行っておくとともに、シャワー時には、必ず教員がシャワーは入り口に立ち、間隔をあけて、ゆっくり落ち着いてシャワーを浴びさせて、汗等をしっかりと落とさせるよう指導を行うこと。

この際、準備体操を終え、マスクを預けながら、順にシャワーを浴びさせるとよい。

※マスク用ビニル袋は、学校で一括に購入する。名前を大きく記入する。マスク用ビニル袋を手を持って、準備体操を行う。

⑤ 従来の水泳指導に加え、2年ぶりとなる子供の実態を踏まえた指導内容や感染対策を考慮した学習形態を学校内で確認したか。

ケ. 2年ぶりとなる水泳の学習であるため、水に慣れることを第1目的として、原則、泳法の指導をしない。

コ. 監視を行う2人の先生は、水に入ってから指導を行わず、プールサイドから児童の安全を監視することに努める。※必ず水着を着て、緊急入水に備えること。

サ. 入水時間は、10分程度とし、飛沫防止のため、一方通行のみとする。

シ. 自由泳ぎ（遊び）の時間は、感染防止のため設けないこととする。

ス. ビート板は、使用しないで行けるとよいが、利用した場合は、他の児童と共有しないこと。さらに、利用した際は、7年生にその旨を伝え、授業終了後に消毒を行ってもらう

こと。

⑥ 児童に対して水泳の授業における安全指導に加え、授業中の感染対策やマスクの管理、更衣室利用前の手洗い及び更衣室内での不必要な会話や発声をさせないよう事前指導を行ったか。

セ. 水泳指導が始まる前週に、水泳の注意点の全校授業（放送）を1時間行う。

○全校指導20分程度＋学級指導20分程度

- ・マスクの着用の仕方、一時預け方について、更衣室利用前の手洗いの徹底
- ・更衣の仕方、更衣室の場所、更衣室を使う順番、更衣室でのマスク着用、私語なし等
- ・水泳授業の仕方、一方通行、飛沫防止のため会話をしないこと等
- ・水泳終了後の消毒等の注意点、タオル、ゴーグル等の私物の取り違えや貸し借りを行わないこと
- ・水泳見学時の注意と見学場所、帽子、マスクの着用、水筒持参等

授業中指導事項

⑦ 毎朝の検温と健康観察及び、授業直前の健康観察において、体調がすぐれない児童の参加を見合わせるようにしたか。

ソ. 健康チェックカードと水泳カードの併用による厳格なチェックと煩雑さを軽減する工夫を行い、間違いなく安全に運用する。

- ・健康チェックカード・・・朝、担任に手渡す際、プールカードもチェックを行う。
- ・プールに入る児童、入らない児童をしっかりと分け、入らない児童の名前と理由を記録するようにする。
- ・プールに入らない児童の記録用紙は、プール日誌（裏面）に糊付けして貼る。
- ・体調のすぐれない児童の見学等の注意、配慮の徹底

⑧ 不必要な会話や発声を行わないことや、使用するタオルやゴーグルなどの私物の取り違えや貸し借りをしないこと、プールサイドでも2メートル以上の間隔を保つようにするなど、授業における約束を守らせるようにしたか。

タ. タオルやゴーグル等の私物の取り違えや貸し借りをしない等の徹底。ビート板の共有利用を行わないこと。

チ. 体操時、プールサイド待機時は、児童相互の感覚を十分にとって、体の接触や飛沫が届かない距離を確保するとともに、会話をしないように指導をする。

⑨ 手を繋いだり、体を支えたりするなど密接を避けたり、バディシステムにおいても、感染リスクに充分注意して行えるよう授業を実施したか。

ツ. バディは、なるべくいつも固定し、教室を出る前にしっかり確認を行い、授業毎にプールで手をつないだりしての確認を行わない。

テ. 一方通行での入水時は、バディの片方ずつの列を作り、間隔をあけて並ばせて、順に

- 入水する。その際、もう片方のバディは、プールサイドでバディ相手方の泳ぎ（異動）に合わせて、プールサイドを歩いて移動し、バディ相手を見守る指導を行うこと。
- ト、応援したり、声をかけたりしないこと。※危険な場合のみ先生に向かって大声を出して知らせることの徹底をする。
- ナ、先生は、拡声器を利用し、大声を出す行為を避けること。※教師は、マスク着用

⑩ 子供の実態に合わせた無理のない指導内容とするとともに、事故を防止するための安全面における指導や子供の体調を確認しながらの指導を行ったか。

- 二、従来の指導と同じように、必ず先生二人のペアで児童を監視、指導をすること。
- 又、2年ぶりの水泳授業であることを踏まえ、学年に応じて水に慣れる程度の授業を行い、泳力を競ったり、タイムを計ったりすることは行わないこと。
- ネ、泳力の低い児童への十分な配慮を行うこと。
- ノ、飛び込み等の危険な行為がないように事前指導と共に授業時にもよく注意をすること。

⑪ プール内やプールサイドにおいて、児童が一方行を向いて活動する学習形態とするなど感染リスクに充分注意して指導したか。

- ⑤に依じる。※⑤参照
- ハ、入水時、一方通行のみの水中歩行、水泳（クロール、平泳ぎ等）とするが、できるだけコースを1コースずつ開けることを推奨する。

⑫ 見学者において、2メートルの間隔を確保することや、必要に応じてマスクを外し、熱中症の予防のために適切な見学場所で見学を行わせたか。

- ヒ、見学者については、⑥参照。日陰で、他の児童と接しない位置で見学をさせる。

授業後実施事項

⑬ 児童が利用するドアノブ、シャワー、水道の水栓など手が触れる箇所を適切に消毒を行ったか。休み時間に更衣室の換気を行い、使用前には閉めるようにしたか。

- フ、授業後のアルコール消毒等は、7年生で担当をつくって対応をする。

<消毒箇所>

- ・水道の蛇口
- ・プール更衣室のドアノブ
- ・ビート板を使った場合は、プールの水でビート板を流す。
※ビート板を使った学級は、ビート板をプールサイドに並べておくこと。

<換気をする場所>

- ・プールの更衣室の窓とドアを一定時間空ける。
※プール更衣室の窓、入り口を全開にしてから、消毒作業を行い。最後に閉める、
- ・2階会議室は、常時窓を少し開けて、換気を行っておくので、換気作業は、行わない。※2階会議室窓は、すりガラスのため、外からは見えにくい。

⑭ プール日誌に、気温、水温、残留塩素濃度等及び、見学者の人数等が記録してあるか。

へ、感染症対策に応じたプール日誌を新たに作成する。校長が体育主任と相談して作成
 ※見学者の名前を貼り付け、消毒作業を行った先生の名等が明記できる工夫

⑮ 児童の健康状態を見届け、体調が良くない場合に適切な処置をしたか。

ホ、顔を洗い、鼻をかみ、うがいをすることによって目、鼻と口腔の粘膜を洗浄することができますが、この際、飛沫が飛ばないように十分に注意をさせることが必要です。一番簡単な指導法は、時間を十分にかけ、ゆっくり順番を待たせて、間隔をあけて行わせること。

この際、次の授業のことを考えず、安全最優先に対応することが大切です。

マ、プールから上がったらずやなければならないことは、ボディの確認です。全員が確認できたら、教具の片付け、整理運動、シャワー、マスク用ビニル袋を手渡し、更衣を経て教室へ。

ミ、児童相互でタオルや水着など肌に触れる用具の貸し借りを行うことは感染を拡大させることになるので、避けるように折に触れて指導してください。

ム、体調が良くない児童がある場合には、養護教諭、管理職と緊密な連携（一何の原則）をお願いします。また、家庭にも丁寧な電話連絡をお願いします。

その他

メ、水泳学習は、岐阜県まん延防止等重点措置が終了する6月21日からになる見込みです。詳しくは、6/2の校長会で決定される予定です。

モ、熱中症対策の徹底。暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）3.1以上では中止する。

ヤ、マスク用ビニル袋（ひも付き巾着ビニル袋）について



・＜参考＞ビニル（ポリエチレン）無地カラー巾着袋 50枚 1,182円（税込）
 学校で一括購入

- ・油性ボールペンで名前、学年学級を書く。
- ・分かりやすいようグループごとに色を変える。
- ・マスクを入れるカゴ 各クラス6個程度（グループ毎）

○学年 感染予防対策を講じた安全な水泳指導のための計画

1. 感染予防対策を講じた更衣の仕方について

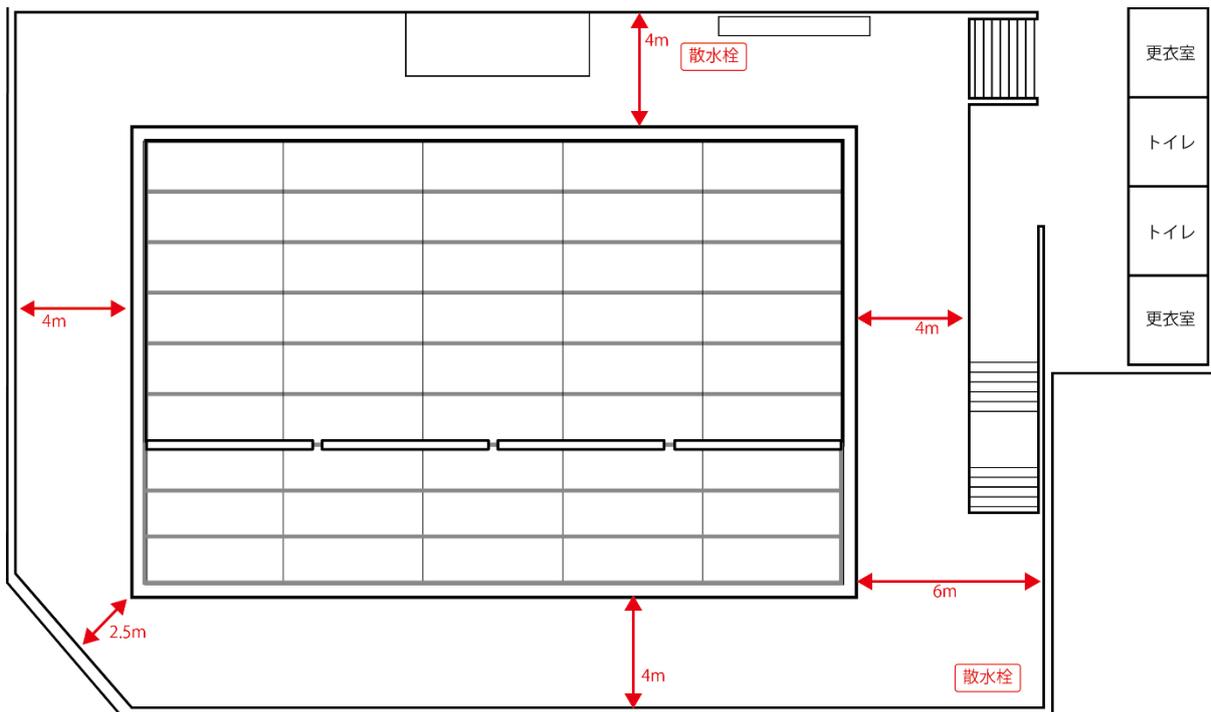
- ・更衣室として使用する教室、施設

会議室 自分の教室 ペア学級の教室 生活科活動室

プールの更衣室

2. 安全な更衣をするために学年で注意すること

3. プール（水泳授業）の子供の動きについて



- ・水泳授業中の子供の動きについて注意すること

感染拡大防止策・熱中症予防対策チェックリスト

月	日	曜日	校時	年	組	担当：
---	---	----	----	---	---	-----

	No.	チェック項目	○×
水泳前	1	・健康チェックカードの確実な点検と朝の健康観察により、児童の健康をしっかりとチェックした上で、水泳授業参加者と見学者の正確な把握をした。	
	2	・見学者には、帽子（日傘）をし、日陰で見学学習をするよう指導した。	
	3	・更衣室に行く前に手洗いをさせた。	
	4	・更衣室では、マスク着用の上、私語なしで着替えるよう指導した。または、監督した。	
水泳中	5	・準備体操・入水待ち等プールサイドでは、間隔をあけて行った。	
	6	・見学児童が帽子（日傘）をし、日陰で見学学習をしているか確認した。	
	7	・シャワー使用前にマスクを外し、適切に保管した。	
	8	・シャワー利用時は、静かに間隔をあけて行った。	
	9	・入水時は、飛沫感染防止、接触感染防止策徹底のため、一方向に泳ぎ、決まった場所からプールサイドに出るようにした。	
	10	・マスク未着用時の私語をせず、また、たんやつば、鼻水の処理は、手洗い場で行わせ、手洗いをさせる。	
水泳後	11	・シャワー使用后、タオルをとって体をふいた後、マスクを着用して更衣室へ向かわせた。	
	12	・水泳後の更衣室でもマスク着用の上、私語なしで着替えるよう指導した。または、監督した。	
	13	・更衣後にせっけんを使って手洗いをさせた。	

校長	教頭	教務主任	保健主事	養護教諭

※授業後、放課後までに提出すること